

# わたぬき

東区 福岡市議会議員予定候補

無料に！  
学校給食を



わたぬき康代さんのプロフィール  
福岡市議会議員予定候補

康代

ヘルパー経験  
10年

こんにちは、わたぬき康代です。コロナ禍に物価高で現役世代も高齢者も生活の苦しさが増しています。いま全国で広がっている学校給食の無料化のうごき、福岡市でもぜひ実現させましょう。子育て・教育・福祉に優しいまちへ、こいっしょに声をあげましょう。

日本共産党

福岡民報

ご意見、ご感想をお寄せください ● 日本共産党福岡東・博多地区委員会 ● 電話 092-631-0037 ● メール info@jcp-tohaku.jp ● わたぬき康代さんの政策について紹介します。 ● 2022年10月号外 ● 発行：福岡民報社 ● 1964年12月9日第三種郵便物認可 ● 〒810-0022 福岡市中央区薬院 3-13-12 大場ビル3階



新日本婦人の会で活動  
ジェンダーの  
重石(おもし)を  
とりのぞきたい

子育て、家事、介護を女性が多く担っていて、働くといっても非正規が多く経済的に夫に頼らざるをえません。家庭の中での行きづまりは社会の問題。これが重石となっています。

私はこれまで新日本婦人の会で活動してきて、男女の賃金格差をなくすこと、女性の多いケア労働者の処遇改善を求めてきました。社会・経済にとっても、家庭の平穩にとっても、ジェンダー平等の実現は急務です。市政の大事な課題としてとりくみます。

世の中変えたいと声をあげ続けてきました。

子どものころから被爆者の話を聞く機会があって、「戦争はイヤ！核兵器のない世界！」の思いを持ち続けています。毎年夏、広島と長崎でひらかれる原水爆禁止世界大会に若



幼少から被爆体験く  
平和が  
原点

い世代や女性たちといっしょに参加してきました。核兵器禁止条約が核大国の妨害に屈せず実現したことは本当にすごいことです。日本政府も「核抑止力論」から抜けだして条約批准してほしいし、福岡市も他都市のように非核平和都市宣言をしてほしい。

平和を守る、憲法9条を変えさせない。そのためにがんばります。



補聴器の補助を

高齢者の補聴器補助の署名運動に住民の皆さんとともにとりくんでいます

市議16年の経験いかし  
県政に挑戦！

県政も「わたぬき」、市政も「わたぬき」



県議予定候補  
わたぬき  
英彦



市議予定候補  
わたぬき  
康代

# 娘の不登校を経験して 学校に居場所を つくるのは 政治の役目です

娘（いま大学生）が小学校の時から不登校になったのを通じて、不登校に悩む他の保護者とながりました。発達障がいなどは不登校の一つのきっかけですが、今の学校では十分配慮されません。私がかかわっている無料塾にきていた不登校の子で「行政制度としてしっかりしたサポートがあれば学校に行ける子がいるなあ」と思うことは度々ありました。

現状では、子どもが学校にいけないと、負担が保護者、特に母親に行ってしまう。フリースクールや家庭学習はお金がかかり、フルタイムの仕事は諦めるしかありません。「自己責任」化されやすいのですが、本当は政治が支援をしなければなりません。

学校給食のアレルギー対応でも親の責任にされがちです。あるお母さんが対応してほしいと要求したとき市教育委員会は「お金がかかる」と渋っていました。しかし、

## ヘルパーを10年

## サービスの削減、 社会に関われない 実態を見つづけて

訪問介護ヘルパーを10年してきましたが、自民党・公明党の政治のもとで介護サービスが削られてきたことを実感しています。

負担の重さや制度改悪によって、必要なサービスが受けられなくなっています。それが、その人らしく生きることがや尊敬をおびやかしている――そう現場で感じました。

私は市政の場で、介護保険料・利用料を引き下げること、サービス削減を止めて充実すること、介護で働く人の報酬を引き上げることへ力を尽くします。

ヘルパーに慣れてきたころから、障がいをもつ若い方のケアを担当することが増えてきました。



### 当事者に寄り添う 姿勢を尊敬します

不登校の子どもとの生活がもうすぐ4年になります。わたぬき康代さんは同じ経験をもつ先輩として、悩みを聞き、励ましてもらっています。発達障がいの親のスクールや、家庭学習を支援する無料塾を長年継続する中で、当事者に寄り添い、粘り強く問題解決に取り組む姿勢を尊敬しています。

大谷真子さん

900万円での対応が可能だとわかり、交渉を通じて数か月で実現しました。

保護者が声をあげたことで変わったのです。私は、市議会でも、不登校の子どもたちの居場所を市として保障することなど「子どものせい・親の責任」にされている問題を一つ一つ解決していきたいと決意しています。



### 「傾聴」がうまく 人気者の康代さん

わたぬき康代さんはヘルパー仲間です。人気者でした。高齢である利用者との関わりが一番は傾聴です。話の中から、その方の人生の背景や、ご本人の真意をくみ取ることがうまい。「寛容な心」と力強さを握って離さない人です。公的介護保険の拡充、ケアワーカーの賃金アップ、教育の無償化…この願いを託します。

草野美紀子さん

病気や事故で障がいになり、うつなど精神的な疾患を併発する方もいます。多くの人は障がいがあっても、社会参加し、働きたいという気持ちはあるのです。

どんな人でも働き続けられるようにするため、市政でも、ブラック企業根絶条例の制定、非正規雇用の働き方の改善にがんばりたい。

プロフィール／ 1970 年生まれ。県立中間高等学校卒業。介護福祉士。ヘルパーステーションたすけ愛の会ひまわりでヘルパーを10年以上つとめ、現在、党東区市政・ジェンダー平等責任者。日本民主青年同盟地区委員長、松島小学校 PTA 副会長などを歴任し、現在、新日本婦人の会福岡東支部常任委員、ふくおか健康友の会東の西支部運営委員。家族は夫（綿貫英彦福岡市議）、1男1女、義母。地域では、保育、学童保育、無料塾や子ども食堂にも携わってきました。趣味は古着リサイクル手芸、絵手紙。